

【名 称】旧大山中学校（旧大山保育園）

【所 在 地】丹波篠山市大山新80番地

【指定番号】第11号

【指定年月日】令和5年3月 日

【構 造】①本館（木造平家建）
②宿直棟（木造平家建）
③渡り廊下

【敷地面積】3,191.17 m²

【建築面積】605.08 m²

【延床面積】508.21 m²

【建築年代】昭和25年（棟札より）



旧大山中学校

【建造物の由来・沿革・特徴】

大山谷川、天内川及び大山川が合流する丹波篠山市大山新地区の中心部に位置し、大山小学校の運動場の南側に隣接して立地している。

東西に長い切妻の北側片廊下型校舎で、本館、宿直棟、渡り廊下からなり、現在「大山ファミリーの郷」として地域の活動拠点の一つとなっている。

当該建造物は、戦後の新しい教育制度（六・三制）の施行に伴い建設された木造平家建てで、現在市内に現存する終戦後間もない木造校舎は、当該建造物と旧多紀中学校（現篠山チルドレンズミュージアム）のみとなっている。

南側には波賀尾山が位置しており、大山小学校から南の運動場越しに望む景観は、「山の学校」と呼ぶにふさわしい佇まいとなっている。



位置図

【指定理由】

旧大山中学校は、地域の歴史、教育、文化等からみて地域を代表する木造校舎であり、歴史的な景観形成に欠くことのできない建造物である。

貴重な木造校舎が残る里山の風景に再びスポットライトが当たり、地域住民の誇り・来訪者の目的地となることが期待され、現在の大山小学校や幼稚園など周囲から容易に望見できるひときわ目立つ存在であることから、景観重要建造物に指定するにふさわしい建造物である。